

# RSA (JRFU) の目的、育成について



運営部副部長 大塚 茂

# 今日、お話すること。

- RSAの目的、育成とは何？
- 運営組織について（ボランティア・営利の比較）

# 芦屋ラグビースクールの目的。

ラグビーを通して『**子供達の知力や体力、協調性をもたらす健全な精神を育成する**』こと。

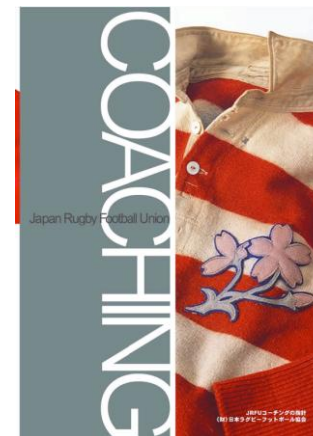
育成とは どうすることか。強化ではないのか。

日本協会の指導プランに合っているのか。



## JRFUコーチング資料

【参考】JRFUコーチングの指針  
「指導のアウトライン」



RSAはジュニア部門  
を承っています。

## 育成と強化の違い



育成・・・土台を膨らませる



強化・・・形を整える

すべてのプレイヤーのすべてのスキルを

## 指導の大きなテーマ

- ・「ラグビーが好きでたまらない」というプレイヤーを育てましょう。
- ・ゲームをエンジョイできるプレイヤーを育てましょう。
- ・安全にラグビーが出来るスキルを指導しましょう。

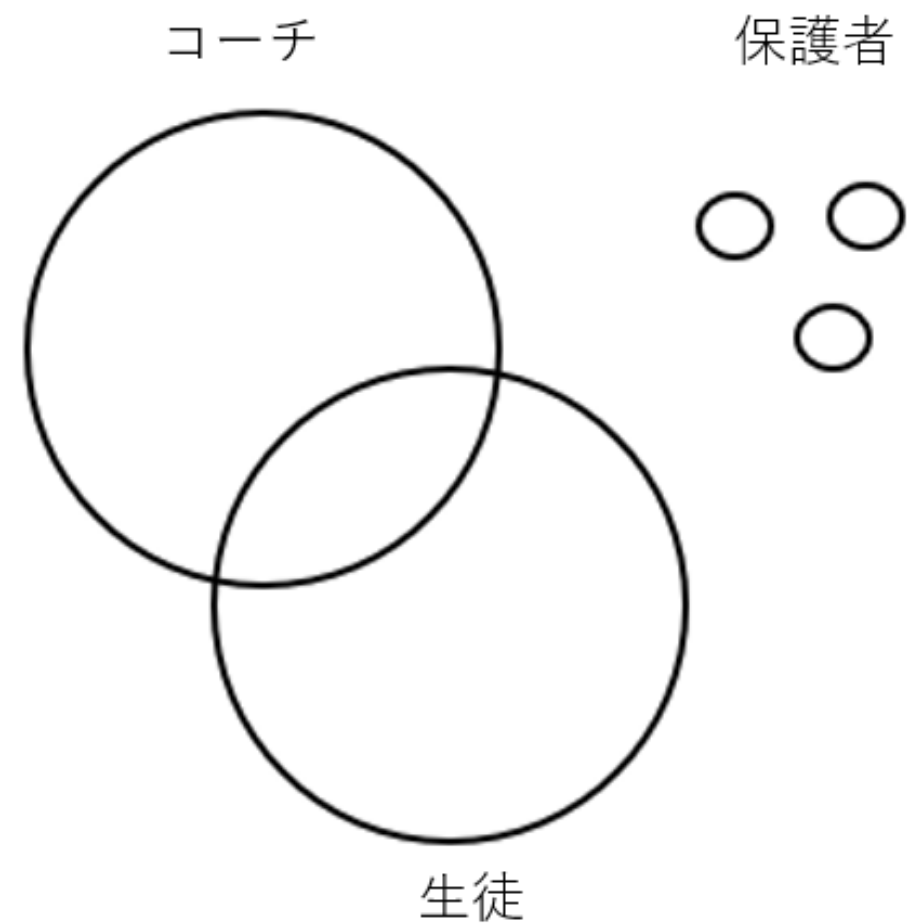
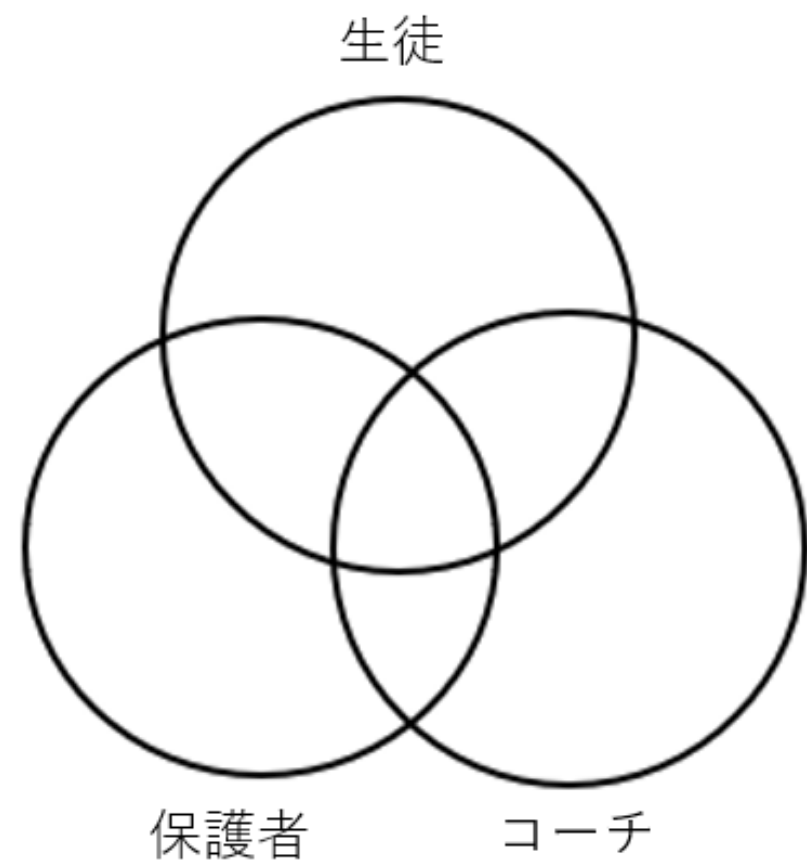
【生徒】 次のカテゴリーでラグビーを続けたい、関わりたい。（フライアップの精神）

【保護者】 子供がラグビーを続けてくれたおかげで、楽しませてもらいました。

【コーチ】 いつまでたっても生徒を見守りつづけたい。成長が楽しみ。また育てたい。

【スクール】 フライアップした生徒が子供を連れてコーチで帰ってくること。

## 組織運営について（ボランティア団体・営利団体比較）



### 【フライアップでこう言えるように】

子供がラグビーを続けてくれたおかげで、私たちも楽しませてもらいました。次でもラグビーを続けてくれるので、まだまだ楽しませてもらえます。

### 【まとめ】

育成とは「心の土台を大きくする」こと。それを一番大きくできるのは保護者です。コーチ、上級生、仲間、参考書ではありません。

### 【そのために】

ラグビー（スクール）に無関心でなく興味を持ちましょう。

成功したらホメる、失敗したら励ます。怒られない、認められる、楽しめる環境。その中でプレーをさせてあげることです。

第2次成長期を迎えたら、その土台を使って、勝手に成長していきます。